

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 3 月 22 日

公表:令和 6 年 3 月 25日

事業所名 ひろば

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		スペースの中でも身体活動量に合わせ、空間を仕切る等工夫しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		PT、OTによる活動や補装具のチェックも実施しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		適宜スタッフ間で話し合いを行いながら、発達に合わせた支援が行えるように努力しています。	保護者との面談等の時間を積極的に行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			頂いた御意見を参考に、業務の見直しや日頃の支援につなげていけるようにしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		市のホームページにて掲載させて頂いています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討していきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		虐待防止や身体拘束に加え、適宜支援に関する研修会に参加し、スタッフに周知しています。	今後も積極的に参加し、知識技術の向上に努めていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		送迎時やリハビリ後に、保護者との情報交換を行い、スタッフ間で情報共有しています。	些細な事でも耳を傾けるように配慮をしていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		現状使用していません。今後必要に応じて検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個々の状態をスタッフ間で話し合い、適した活動プログラムになるよう行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節や行事に合わせて楽しんでもらうよう工夫しています。	季節のイベントなどは、飾りつけや行事に合わせた催しにとりくんでいきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		身体能力に応じて、現状のできない事柄をピックアップして支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		行える範囲で集団で野外活動をおこなったりしています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前には、本日の来られる方の情報をスタッフ間で確認し共通認識をもって行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援した時にどのような状態だったかを共通してもつよう報告をしています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録を付ける事で、以前はどのような状態だったかを把握して支援をおこなっています。		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に行い、放課後等デイサービスの計画を判断しています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		基本ののっかって行えるよう、支援しています。		

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		一番精通している者が参加できるよう調整をしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に特にどのような状況かをうかがいお互いに情報を交換しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的な連携に関しては、保護者を通じてもしっかりと行うようになっています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談員も交えて情報交換を密に行うようになっています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		情報提供を行い、卒後も問い合わせ等あれば保護者に確認をとった上で情報開示しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要があれば、様々な関係機関を連携をとりながら適切な支援が行えるように努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			現状実施していません。必要に応じて検討をしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		開催があれば、積極的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者との情報交換に加え、学校とも連携して認識を統一するようにしています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		助言やかかわり方をできるだけ伝えていきます。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行い、都度変更点等あれば直接ご説明するようにしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時以外にも連絡を密に行い、適宜必要に応じて相談支援を行っています。必要であれば、各種機関をご紹介したり、他事業所と連携を取り支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会等、現状実施していません。要望等をお伺いしながら検討していきたいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情窓口を設けていますが、保護者からのヒアリングをこまめに行うことで未然に防げるように努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			保護者との連絡に関しては密に行っていますが、会報等の作成は行っていません。保護者からの要望等をお伺いしながら検討していきたいと思っています。
	35	個人情報に十分注意している	○		書類や知り得た情報に関して十分に配慮しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			行事等実施していません。保護者からの要望等をお伺いしながら、検討していきたいと思っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアル作成し、事業所内にいくつか掲示もしています。	保護者への周知に関しては認知されていない部分があります。今後も定期的に周知していけるように取り組んでいきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回、定期の消防訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会も設置されており、定期的に研修会を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		法人内に身体拘束、虐待防止の委員会を設置しています。他部署での事例も参照しながら対応しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在対象児童がおらず、提供する食事に関しては自宅からの持参であるため、対応非実施です。今後必要に応じて対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		法人内でウェブシステムを利用したインシデント・アクシデントの報告書システムを活用しています。	